

令和8年度

小 学 校

(解答はすべて小学校解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、
試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。
同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号						氏 名	
----------	--	--	--	--	--	--------	--

〔問一〕(二) 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

(橋本幸士 物理学者のすごい思考法)

① ——— 線部 a ～ c について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。また、カタカナは漢字に直し、楷書で書きなさい。

〔 a メイカク b ショウコ c 定規 〕

② ——— 線部ア「人々の科学への期待」とあるが、その具体について述べている部分を本文中から四十三字でさがし、最初の五字を書きなさい(句読点は字数に含める)。

③ 本文中の A に当てはまる言葉として、最も適切なものを、次の a ～ d から一つ選び記号で書きなさい。

〔 a 大局的 b 普遍的 c 科学的 d 局所的 〕

④ ——— 線部イ「役に立つ」かどうかは、その普遍性からの一つの成り行き」とあるが、同じ意味を表す言葉を、本文中から八字で抜き出して書きなさい。

表

	(小) 第1学年及び第2学年	(小) 第3学年及び第4学年	(小) 第5学年及び第6学年
伝統的な言語文化	ア 昔話や ① などの読み聞かせを聞くなどして，我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。	ア 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして，言葉の ③ に親しむこと。	ア 親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章を音読するなどして，言葉の ③ に親しむこと。
	イ 長く親しまれている ② を通して，言葉の豊かさに気付くこと。	イ 長い間使われてきたことわざや ④ ,故事成語などの意味を知り，使うこと。	イ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して， ⑤ のものの見方や感じ方を知ること。

- A 慣用句

B 国語

C 絵本

D 神話・伝承

E 昔の人

F 使い方

G 言葉遊び

H 響きやリズム

I 昔話

J 作者

(二) 「小学校学習指導要領」(平成二十九年三月) 第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容 2 内容〔知識及び技能〕 (3) 「我が国の言語文化に関する事項」に即して、表の中の ① ～ ⑤ に入る適切な語句を、A～Jの語群から選び、記号で書きなさい。

【問2】 次の問いに答えなさい。

(1) 各問いに答えなさい。

① 表中A～Dは「なす」，「にんじん」，「ほうれんそう」， 表
「りんご」のいずれかの農作物の主産地と収穫量を表している。
「りんご」と「なす」を示すものを，表中のA～Dから1つず
つ選び，記号を書きなさい。

② 表中の農作物の主産地の都道府県を7地方区分に分けたとき，
表中の都道府県が1つも含まれていない地方はどこか，次のア
～エから1つ選び，記号を書きなさい。

- | | |
|---|---------|
| ア | 東北地方 |
| イ | 近畿地方 |
| ウ | 中国・四国地方 |
| エ | 九州地方 |

(「日本国勢図会2024/25」より作成)

(2) 次の文を読んで，各問いに答えなさい。

律令体制下では，人々は6年ごとに作成される戸籍に登録され，班田収授法によって口分田という土地が与えられた。また，毎年作成される計帳でa 租・調・庸などの負担が決められた。人口増加による口分田の不足をおぎない，税の増収をはかるため，b 墾田永年私財法を發布し，新たに開墾した土地の私有を認めた。これ以降，貴族や寺社は開墾に力を入れ，私有地を独占するようになった。

① 下線部aについて述べた文として最も適切なものを，次のア～エから1つ選び，記号を書きなさい。

- | | | | |
|---|------------------|---|-------------------------|
| ア | 租は，稲の収穫の約5%を納める。 | イ | 調は，都や寺院の建設が課される。 |
| ウ | 庸は，労役のかわりに布を納める。 | エ | 租・調・庸は，年齢や性別の区別なく課せられる。 |

② 下線部bの前後に起こった次のア～エの出来事を，年代の古い順に並べ替え，左から順に記号を書きなさい。

- | | | | |
|---|--------------|---|-------------|
| ア | 壬申の乱が起こる。 | イ | 都を平安京に移す。 |
| ウ | 大仏造立の詔が出される。 | エ | 三世一身法が出される。 |

(3) 日本国憲法第14条について，各問いに答えなさい。

① 次の（ あ ）に当てはまる適切な語句を，日本国憲法の条文に即して書きなさい。

第14条 すべて国民は、法の下に（ あ ）であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

② 日本国憲法第14条にかかわって，憲法の理念を受けて，男女の人権が尊重され，男性も女性も対等な立場で活躍する社会の実現を目指し，1999年に制定された法律を何というか，書きなさい。

(4) 「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容に即して，（ い ），（ う ）に当てはまる適切な語句を，それぞれ書きなさい。

【第3学年】

2 内 容

(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

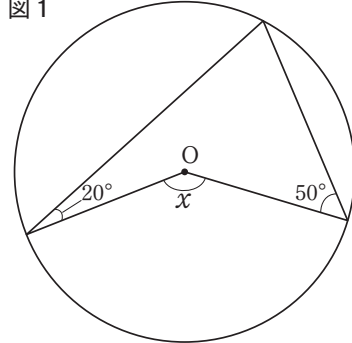
(ア) 都道府県内における市の（ い ），市の地形や土地利用，交通の広がり，（ う ）など主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，身近な地域や市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現すること。

〔問3〕 次の問いに答えなさい。

(1) $\sqrt{8} \times \sqrt{2} - \sqrt{8} \div \sqrt{2}$ を計算しなさい。

(2) 右の図1の円Oで、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

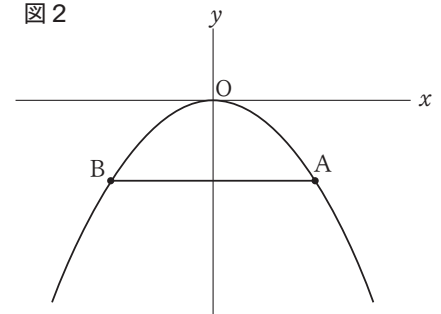
図1



(3) 3けたの自然数Aがある。この自然数Aの百の位と十の位の数と同じであり、この自然数Aの各位の数の和は5になる。また、百の位の数と一の位の数を入れかえてできる3けたの自然数は、もとの自然数Aよりも99小さくなる。このとき、もとの自然数Aを求めなさい。

(4) 図2のように、 $y = -\frac{1}{5}x^2$ のグラフ上に、 x 座標が正である点Aと、 x 座標が負である点Bをとる。点Aと点Bの y 座標が等しく、 $BA = 8$ であるとき、点Aの座標を求めなさい。

図2



(5) 信州中学校の2年A組20人と2年B組20人の休日の学習時間を調べ、それぞれの結果を図3と図4のヒストグラムに表した。2つの図から読みとれることとして正しいものを、下のア～オから1つ選び、記号を書きなさい。

図3

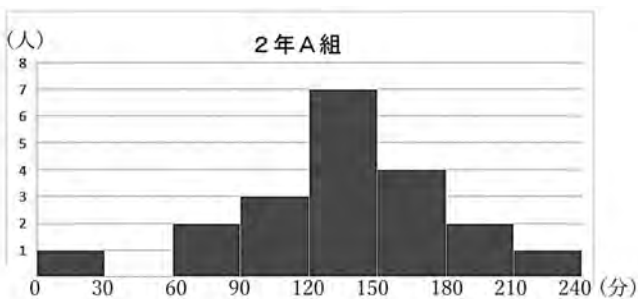
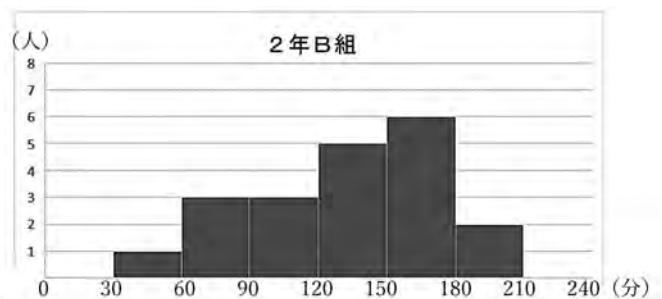


図4



- ア 2年A組は2年B組より、中央値をふくむ階級の度数が少ない。
 イ 2年A組は2年B組より、学習時間の分布の範囲が小さい。
 ウ 2年A組は2年B組より、最頻値をふくむ階級の度数が多い。
 エ 2年A組は2年B組より、30分以上60分未満の階級の相対度数が大きい。
 オ 2年A組は2年B組より、学習時間が150分以上の人数が多い。

【問4】 次の問いに答えなさい。

(1) 植物の分類について、単子葉類に分類される植物の特徴として、適切なものを次のア～クの中からすべて選び、記号を書きなさい。

- ア 胚珠が子房に包まれている。

イ 子房がなく胚珠がむき出しになっている。

ウ 子葉が1枚である。

エ 子葉が2枚である。

オ 葉の葉脈が網状脈である。

カ 葉の葉脈が平行脈である。

キ 根はひげ根である。

ク 根は主根と側根からなる。

(2) うすい塩酸をつかって、次のⅠ、Ⅱの手順で実験を行ったところ、試験管A、Bで気体が発生する様子が観察された。

- Ⅰ 試験管Aにはマグネシウムリボンを、試験管Bには石灰石を、それぞれ入れた。

Ⅱ 試験管A、Bそれぞれに、うすい塩酸を5cm³加えた。

① 試験管Aで発生した気体の特徴として、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- ア 特有の刺激臭があり、水でぬらした赤色のリトマス紙を青色にする。

イ 空気中に体積の割合で約21%ふくまれ、物質を燃やすはたらきがある。

ウ 水にわずかに溶け、石灰水に通すと白く濁らせる。

エ 気体の中でもっとも軽く、空気中で燃えると水になる。

② 試験管Bで発生した気体と同じ物質の気体が発生する反応として、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- ア 酸化銀を加熱する。

イ 炭酸水素ナトリウムに塩酸を加える。

ウ 二酸化マンガンをうすい過酸化水素水を加える。

エ 塩化アンモニウムと水酸化カルシウムの混合物を加熱する。

(3) 日本や世界の火山と、そこから噴出し冷えて固まった溶岩について調べた。

【調べてわかったこと】火山は、形によって次の表1の㊸～㊺の3つに分けられる。

表1

	㊸	㊹	㊺
火山の形 ※模式的に表した図と、その特徴	傾斜がゆるやかな形	円すい形	ドーム状の形
代表的な火山	マウナロア（アメリカ・ハワイ）	桜島（鹿児島県）	雲仙普賢岳（長崎県）

次の文章中の a ～ d にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

㊸の火山のマグマは、粘りけが a ，㊺の火山のマグマは、粘りけが b 。㊸のような火山では、c 噴火をすることが多く、㊺のような火山では、d 噴火をする。

- ア a：大きく（強く） b：小さい（弱い） c：おだやかな d：爆発的な

イ a：大きく（強く） b：小さい（弱い） c：爆発的な d：おだやかな

ウ a：小さく（弱く） b：大きい（強い） c：おだやかな d：爆発的な

エ a：小さく（弱く） b：大きい（強い） c：爆発的な d：おだやかな

(4) 音の性質を調べるために、図1のような装置を用いて実験を行った。この装置は、モノコードの弦を左側のX点で固定し、もう一端にはおもりをつけ、弦を張ったものである。今、ことじは、モノコードの中央付近の位置にあり、自由に動かすことができる。図1の装置において、2本の太さの異なる弦、おもりの数、ことじの位置（P点、Q点）を変えて、はじいて振動させる部分の中央を同じ強さではじき、音の高さを調べた。ただし、1個のおもりの質量はすべて同じものとする。また、弦の張りの強さはおもりの数で変わり、弦の材質は同じである。また、表2は実験条件の組み合わせの一部である。

図1

表2

条件 \ 組み合わせ	A	B	C	D	E
おもりの数	1個	1個	2個	2個	2個
弦の太さ	細い	太い	細い	太い	細い
ことじの位置	Q	P	Q	Q	P

① はじいて振動させる部分の長さによる音の高さのちがいを調べるためには、表2のA～Eのうち、どれとどれを比較すればよいか、記号を書きなさい。

② 最も高い音が出た組み合わせは、表2のA～Eのどれか、最も適切なものを1つ選び、記号を書きなさい。

〔問5〕 次の問いに答えなさい。

下の楽譜は「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第6節 音楽 に示された、ある共通教材の一部である。

〔注意：声を出して歌ったり、音を立てて拍子を取ったりしないこと〕

いーらーか の なーみーと くーもーの な み

かーさーな る なーみーの なーかーぞ ら を

- (1) この曲の曲名を書きなさい。
- (2) この曲が共通教材として取り上げられている学年を書きなさい。
- (3) この曲は何長調の曲か書きなさい。
- (4) Aで示されている強弱記号の読み方をカタカナで書きなさい。
- (5) Bで示されている休符の名称を書きなさい。
- (6) 楽譜中のアの音をソプラノリコーダー（バロック式）で演奏する際の正しい運指を、次のあ～おから1つ選び、記号を書きなさい。

【問6】 次の問いに答えなさい。

- (1) 第5学年の児童に向け、造形遊びをする活動を構想する際に、「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 を確認した。次の（ あ ）～（ う ）に当てはまる語句を、それぞれ書きなさい。

〔第5学年及び第6学年〕

2 内 容

A 表 現

- (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 造形遊びをする活動を通して、材料や場所、（ あ ）などの特徴を基に（ い ）的な活動を思い付くことや、（ う ）したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

- (2) 第5学年の児童に向けて、針金を曲げたり組合せたりして、絵や立体に表す授業を構想し、材料や用具を検討した。材料や用具の取扱いについて、次の問いに答えなさい。

- ① 針金の種類や太さ、加工方法に関わるア～エの文について、正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

ア スチール針金は、同じ太さのアルミ針金よりもかたく、強度もある。

イ 針金の番手が大きくなるほど、針金は太くなる。

ウ ペンチとラジオペンチを比べると、ペンチは先が細くなっているの、細かな作業がしやすい。

エ 針金を切る際は、ペンチやラジオペンチの刃の元のほうを使用する。

- ② 表現と鑑賞が相互に関連して働き合う題材展開を構想した。次の（ え ）に当てはまる語句を、「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 に即して、書きなさい。

〔第5学年及び第6学年〕

2 内 容

B 鑑 賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を（ え ）こと。

〔問7〕 次の問いに答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領解説 体育編」(平成29年7月 文部科学省)第2章 第2節 〔第3学年及び第4学年〕 2 内容 C 走・跳の運動 (1)知識及び技能 に即して、次の(あ)，(い)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア かけっこ・リレーでは、(あ)よく走ったりバトンの受渡しをしたりすること。

イ 小型ハードル走では、小型ハードルを(あ)よく走り越えること。

ウ 幅跳びでは、短い(い)から踏み切って跳ぶこと。

エ 高跳びでは、短い(い)から踏み切って跳ぶこと。

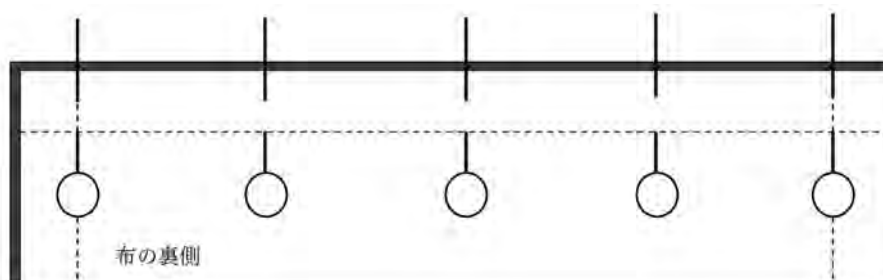
- (2) 「小学校学習指導要領解説 体育編」(平成29年7月 文部科学省)第2章 第2節 〔第5学年及び第6学年〕 2 内容 G 保健 (3)病気の予防 ア 知識 (ア)病気の起こり方 に即して、次の文の(う)，(え)に当てはまる語句を書きなさい。

(ア) 病気の起こり方

日常経験している病気として「かぜ」などを取り上げ、病気は、(う)，体の抵抗力，(え)，環境などが関わりあって起こることを理解できるようにする。

〔問8〕 次の各問いに答えなさい。

- (1) 布にまち針をとめる順番を解答欄のまち針の丸の中に数字で書きなさい。なお、同じ数字を複数使ってもよい。



- (2) 下の(表1)の実習題材ア～エについて、小学校の調理の実習題材として適切でないものをすべて選び、記号を書きなさい。ただし、食物アレルギーについては児童の実態に応じて配慮するため、ここでは考えないものとする。

(表1)

実習題材	主な使用食材	調理方法
ア 青菜のおひたし	ほうれんそう	ゆでる
イ 三色肉野菜いため	たまねぎ・にんじん ピーマン・ふた(生)	いためる
ウ さけのムニエル	さけ(生)・小麦粉	焼く
エ ゆでじゃがいも	じゃがいも	ゆでる

- (3) 「小学校学習指導要領」(平成29年3月)第2章 第8節 家庭 第2 各学年の内容 1 内容 B 衣食住の生活 (6) 快適な住まい方 に即して、次の(A)，(B)に当てはまる語句を書きなさい。

(6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 住まいの主な(A)が分かり、(B)の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。

(イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。

イ (B)の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、快適な住まい方を工夫すること。

【問9】 次の①～④のそれぞれの場面において用いる英語として適切でないものをア～ウから1つ選び、記号を書きなさい。

①〔駅前で図書館への道を尋ねられて答えるとき〕

- ア Go straight.
- イ Turn right at the third corner.
- ウ We went to Kyoto.

②〔店で何がほしいか尋ねられて答えるとき〕

- ア It's nine hundred yen.
- イ I want apples and bananas.
- ウ I'd like pizza.

③〔相手の提案に賛成するとき〕

- ア Yes, let's.
- イ I don't like baseball.
- ウ That's a good idea.

④〔相手の誘いを断るとき〕

- ア It's my turn.
- イ No, thank you.
- ウ I'm sorry. I can't.

【問10】 「小学校プログラミング教育の手引（第三版）」（令和2年2月 文部科学省）に即して、次のア～エに当てはまる言葉を【語群】から選び記号で書きなさい。

第2章 小学校プログラミング教育で育む力

(4) プログラミング教育のねらい実現に向けて

(略)

プログラミング教育の実施に当たっては、プログラミングの（ア）を通して、①「（イ）」を育むことと、②プログラムの働きやよさ等への「（ウ）」を促し、コンピュータ等を上手に活用して問題を解決しようとする態度を育むこと、③各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、各教科等の学びをより（エ）なものにするをねらいとしていることを踏まえて取り組むことが重要です。

【語群】

- | | | | |
|----------|-------|--------------|------|
| a コーディング | b 確実 | c プログラミング的思考 | d 体験 |
| e 概念的理解 | f 気付き | g 基本的な操作技能 | h 高度 |